

報道関係各位

2011年10月11日  
森ビルシティエアサービス株式会社

## 業界初、震災時のヘリコプターシェア利用 事業継続計画(BCP)にMCAS『震災対策フライトプラン』

森ビルシティエアサービス株式会社（森ビル 100%子会社／代表取締役社長 進 和久）は、震災時の事業継続計画（BCP）の新たなソリューションとして、MCAS『震災対策フライトプラン』を企画いたしました。東日本大震災を機に、企業におけるBCPの重要性がますます高まる中で、この度提供するプランでは、震災時にヘリコプターを活用し、迅速な人員や物資の移動により、被害を最小限に抑え、震災後の円滑な事業継続に貢献いたします。



### プランの特徴

- 震災時にヘリコプターを優先配機（契約口数12口限定）
- 都心で唯一民間旅客利用が可能なヘリポートを活用（アークヒルズ）
- 発着所のアーク森ビルは高い耐震性と非常用電源を完備
- 快適なフライトを約束するエルメスエディションのヘリコプター

### 震災時の主な活用事例

- ・ 地方のバックアップオフィスへの緊急移動
- ・ 災害初動対応に向け、キーパーソンを速やかに移動
- ・ 工場等が大きな被害を受けた際、上空から被災状況を確認
- ・ 上空から地域の被災状況を把握し、従業員の安全な避難ルートを確認
- ・ 海外からの賓客が滞在していた際、都心から国際空港まで確実に移動
- ・ 必要な物資を出来る限り近くの地点まで輸送

### 今後の予定

サービス提供開始：2012年1月1日～、申込受付開始：2011年10月13日～

## ■MCAS 『震災対策フライトプラン』概要

### 料金体系(1口当たり)

#### プランA

- 年間支払金額 900万円
  - 年間フライト保証料金 500万円  
年間フライト保証時間 800分
  - 震災フライト保証料金 400万円  
震災時フライト保証時間 240分(年間フライト800分のうち)
    - 震災発生日当日から3日目まで 160分(原則 80分/日)
    - 震災発生日4日目以降7日目まで 80分

● ご利用例

震災当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
80分	40分	40分		40分	40分	
← 3日間で合計160分			→ 4日間で合計80分			

#### プランB

- 年間支払金額 600万円
  - 年間フライト保証料金 500万円  
年間フライト保証時間 800分
  - 震災フライト保証料金 100万円  
震災時フライト保証時間 240分(原則 80分/日)(年間フライト800分のうち)

● ご利用例

震災当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
			80分	80分	80分	
← プランAご利用枠			→ 4日間で合計240分			



エルメスエディションの特製ヘリコプター

本件に関するお問合せ先  
 森ビルシティエアサービス株式会社 三戸、吉岡  
 Tel:03-3568-2474 Fax:03-3568-0823

< 参考 >

## ■ プラン導入のメリット

企業が自前でヘリコプターを保有する場合または運航会社と単独で契約をした際には、多大なコストが想定されます。本プランでは、震災時のヘリコプター利用権を必要分のみ購入できるため、費用負担を大きく削減することが可能となります。また、震災時におけるヘリコプターのシェアプランは今までにない業界初の取り組みとなります。

### 機体を購入した場合とMCAS「震災対策フライトプラン」の比較

機体を自社で  
保有した場合

- 年間総費用 1億5千万円程度\*
- 年間フライト時間 50～100時間前後（通常使用の場合）

※ 機体年間リース料 1億円（5年と想定）  
維持費用 5,000万円／年  
（整備費、格納費、保険料、運航委託費）

MCAS  
「震災対策フライトプラン」  
「プランA」の場合

- 年間支払金額 900万円
- 年間フライト時間 13.3時間
- 震災時フライト 4時間

MCAS「震災対策フライトプラン」なら費用負担を抑えながら、震災時のフライト権利を持つことが可能です。

## ■ 震災時の移動で威力を発揮するヘリコプター

大震災発生の際、主要道路は交通規制で通行止めに、公共交通機関は運行を停止することが予想されるなか、阪神・淡路大震災や新潟県中越大地震そして今回の東日本大震災での経験から、ヘリコプターは他の移動手段に比べ、有効であることが実証されています。



大地震発生時の都心部の交通規制

（出典：2011年 警視庁HPより）